

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月27日更新

事務事業名		国保連合会参画事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
	施策	15	健康づくりの推進					所属課	健康づくり推進課	担当者名	澤田 勝矢
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営					所属班	国保年金班	(内線)	2161
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	国民健康保険法		成果優先度評価結果	
		国保	1	1	2	10390				コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・国保連合会に対する会員負担金の支出、広報事業に対する保険者負担金支出。・国保事業の目的を達成するため、診療報酬の審査支払業務、保健事業、広報活動等を行う。・有名タレントを起用してテレビ放映がされており、年々制度の理解が得られている。平成22年度は、国保総合システム分担金5,632千円を支出したが、同額を国特別調整交付金で交付を受けた。
【業務の流れ】	必要額を国保連合会に支払う。
【主な予算費目】	01総務費 01総務管理費 02連合会負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特段聞いていない。

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
規定どおりの負担金支払い。		平成22年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 負担金額	千円	
→ イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
熊本県民	→ ア 熊本県民	人
→ イ		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
広報活動を行い国民健康保険制度の普及啓蒙を図る。	→ ア 啓発回数	回
→ イ		
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
国民健康保険を県民に啓発することで、制度への理解が得られるため。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア	千円	2,452	2,327	2,300	8,130	2,512	2,500	2,500	
	イ									
② 対象指標	ア	人	1,821,372	1,815,029	1,800,000	1,810,826	1,805,000	1,800,000	1,795,000	
	イ									
③ 成果指標	ア	回	391	391	400	398	390	390	390	
	イ									
投資 入費 量	事業 費	国庫支出金	千円				5,632			(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円	1,864	2,327	2,499	2,498	2,512	2,500	
		一般財源	千円	588						
	人件 費	(A) 事業費計	千円	2,452	2,327	2,499	8,130	2,512	2,500	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	2,499	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	3	3	3	4	3	3	
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	30	30	30	40	30	30	30	0
		(B)人件費計	千円	120	119	119	164	123	123	
			千円	2,572	2,446	2,618	8,294	2,635	2,623	

事務事業名	国保連合会参画事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度的事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 予算編成時に国保連合会より額が示されるため、大幅な削減はない。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 広報活動もテレビ、ラジオ、新聞等で行われているが、従来以外の全く新たなメディアも今後ないとはいえないため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国保連合会広報事業規則に基づいている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 平等割、被保険者数等基準に基づいているため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 人件費はほとんどかかっていない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全国保加入者に係ることであり公平、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う範囲である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

テレビで朝や夕方時間帯に、タレントを使った国保啓発CM（特定健診受診促進、健康づくり、保険料収納促進の3タイプ）が放送されているのを見かけるので、啓発効果は上がっていると思われる。
--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							